

みちのくインフラ DX 奨励賞

東北みらいDX・i-Construction 連絡調整会議 会長 宮本 健也

インフラ分野のDXは、i-Constructionの目的である建設現場の生産性の向上に加え、業務、組織、プロセス、文化・風土や働き方を変更することを目的とした取組です。

「東北みらいDX・i-Construction 連絡調整会議」では、東北地方におけるインフラ分野のDXに係る優れた取組を表彰し、ベストプラクティスとして広く紹介することにより、インフラDXに係る取組を推進することを目的に令和元年度より「みちのく i-Construction 奨励賞」として表彰を行っており、令和4年度から「みちのくインフラDX 奨励賞」と名称を改め、引き続き表彰しております。

今回表彰された取組は、東北地方整備局各事務所・東北6県・仙台市からの推薦、若しくは民間団体より応募された中から、有効性、先進性、波及性の観点から他の模範となるような優れた取り組みについて、15団体を選定させていただきました。

建設業はインフラ整備や維持管理、災害・除雪対応など地域の守り手、担い手としてなくてはならない存在です。本賞が受賞者の皆様の励みとなるとともに、インフラDXの推進により建設業界の皆様の末永い活躍につながっていくことを心より祈念いたします。

受賞者の皆様、誠におめでとうございました。